

## 令和元年度 第1回経営審議会議事録

**日時** 令和元年6月19日(水) 9:55～11:30  
**場所** 本部棟2階 小会議室1  
**出席者** 沖議長、兼信委員、末岡委員、晝田委員、中島委員、筒井委員、梶谷委員(出席 7/7名)  
(監事) 井上監事、大土監事(出席 2/2名)  
(事務局) 小西次長、駒井課長、井上企画広報室長、中島経理班長、谷副参事、田淵総務班長

### 1 開会

### 2 議事録の確認

平成30年度第6回(平成31年3月26日開催)の議事録案は承認された。  
委員に事前確認をしていただき、次回から読上げは行わないこととされた。

### 3 議題

#### [1] 審議事項

#### (1) 第2期中期計画・平成30年度に係る業務実績について

- ・平成30年度の実績等について(スケジュール)
- ・平成30年度に係る業務の実績に関する報告書(案)
- ・平成30年度における重点的な取組に関する実績(案)
- ・公立大学法人岡山県立大学の業務の実績に関する評価の実施基準
  - ・事務局から別添資料1～4により説明があり、原案どおり承認され、役員会に付議することとされた。

#### (2) 第2期中期計画に係る業務実績について

- ・第2期中期計画に係る業務の実績に関する報告書(案)
  - ・事務局から別添資料5により説明があり、原案どおり承認され、役員会に付議することとされた。

#### 【委員意見】

- ・県評価委員会で外部の評価は入っているが、産業界の意見は特に重要である。大学としてこうすれば良いとの意見も得られると考える。  
→第3期中期計画期間は、設置団体である県とも情報交換を進めようと考えている。
- ・論文数の評価についてだが、一本でも非常に素晴らしい論文もある。質を考慮した評価が入ると良い。また、学生の満足という評価も重要である。  
→学生アンケートは実施しているが、活用までには至っていない。検討してまいりたい。
- ・教員評価やストレスチェックに係る低評価は、すぐに改善可能ではないか。  
→ストレスチェックは推薦入試の時期に重なっていたが、今年は職員が受けやすい実施時期に実施する。  
教員評価は評価法が適切かも含め第3期に整理し充実した形にしたい。
- ・卒業生の意見を聞くことも価値があり、協力会で意見聴取も良いのでは。  
→吉備塾や協力会企業に入社した卒業生等との懇談を行いたい。
- ・TOEICテストの点が上がらないのはなぜか。  
→各学部とも入学後は英語を専門とせず、入学後のモチベーション維持が困難であった。また、クォーター制などの開講形式の見直しを行いたい。  
次回テストの得点が上がることを期待している。
- ・評価については、大変な(量の)作業だと感じる。評価結果をどのように

活用するのか。学外、例えば県はどう活用するのが大切である。

**(3) 平成 30 年度決算（案）について**

- ・事務局から資料 1 により説明があり、原案どおり承認され、役員会に付議することとされた。

**(4) 公立大学法人岡山県立大学役員退職手当規程の一部改正（案）について**

- ・事務局から資 2 により説明があり、改正内容の記述につき一部字句を修正（「国に準拠」を「県に準拠」に修正）の上で承認され、役員会に付議することとされた。

**[ 2 ] 報告事項**

**(1) 外部資金の獲得状況について**

- ・事務局から、資料 3 により報告があった。

**(2) 平成 31(2019)年度地域共同研究機構客員教授等について**

- ・事務局から、資料 4 により報告があった。

○次回審議会は令和元年 9 月 1 8 日（水） 9 : 3 0 から開催する予定。